

シーリング材用プライマー

シープラ

系 統 エポキシ樹脂系下塗塗料

適用規格 —

ホルムアルデヒド放散等級 —

特 長

- 1) 各種シーリング材への塗装が可能で、その密着性に優れます。
- 2) シーリング材に起因する汚れを軽減することができます。
- 3) 幅広い中塗り・上塗適性があります。
- 4) 弱溶剤形なので旧塗膜を侵しません。
- 5) 低臭気で塗装作業性に優れます。

塗装条件

塗装方法	は け				
希 釈 率	0%				
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.10				
希 釈 剤	—				

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

温 度		23℃	
項 目	最 短	16 時間	
	最 長	7 日	
使 用 時 限		6～7 時間	

塗料性状

	項 目	内 容
1	荷 姿	1kgセット ベース: 0.8kg 硬化剤: 0.2kg
2	混 合 比	ベース / 硬化剤 = 4 / 1
3	色	銀色系
4	つ や	—
5	仕 上 が り 感	平 滑
6	塗 料 比 重	1.02
7	溶 剤 比 重	0.86
8	加 熱 残 分	60%
9	劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10	労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	ベース: — 硬化剤: キシレン
11	有機則/特化則	ベース: 第3種有機溶剤等 硬化剤: 第3種有機溶剤等
12	消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	ベース: 第4類 第2石油類(非水溶性) 硬化剤: 第4類 第2石油類(非水溶性)
13	硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	ケチミン

主な適用素材

各種シーリング材
(シリコーン系、変成シリコーン系、ポリサルファイド系、ポリウレタン系)
コンクリート、モルタル、アルミ

主な適用下塗塗料

主な適用中塗塗料

主な適用上塗塗料

シーリング材を先打ち後、上塗塗料の種類に応じた下塗塗料を塗装して下さい。
マルチタイルコンクリートプライマーEPO、エコカチオンシーラー、
エポマリンGX、アレスホルダーHG 等

使用上の注意事項

- 1) ベース塗料は開缶後、良くかき混ぜて中味を均一にし、使用の際はベース／硬化剤の混合比率を守って塗装して下さい。
- 2) 硬化剤を使用する際、低温時増粘している場合がありますので加温(低粘度化)してからご使用下さい。
- 3) ベースと硬化剤を混合したものは、所定時間以内に使いきって下さい。所定時間以上経過したものは、初期の塗膜性能や塗装作業性が低下する恐れがあります。
- 4) シーリング材充填後の塗り重ね時間は、各種シーリング材製造メーカーの使用方 法をご参照の上、塗装して下さい。
- 5) シーリング材の汚れ・表面付着物・可塑剤などは、シンナー中性洗剤などで十分 洗浄除去し乾燥させてから塗装して下さい。
- 6) 塗装用具等の洗浄はラッカーシンナーを用いて行って下さい。
- 7) 塗装時ならびに塗料の取り扱い時には換気を十分に行い、火気厳禁として下さい。
- 8) 塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こす場合があります。
皮膚につかないように注意して下さい。
- 9) シープラ塗装部には、必ず下塗り塗料を塗装して下さい。
上塗塗料を直接塗装すると付着性を損なう事があります。
- 10) 換気のよい場所での取り扱い、容器はその都度密栓してください。
- 11) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS (安全データシート)を参照して下さい。

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめ
ご了承ください。